

数学科 (数学 I) 学習指導案

日 時	平成27年5月29日(金) 第1時限		授業者	黒田利信	
学年・組	4年1組		場 所	312教室	
単 元	第2章 2次関数		教科書	新編 数学I (数研出版)	
指導目標	2次関数のグラフの特徴を理解させ、グラフを通して関数の値の変化を考察し、関数の最大値・最小値の求め方や2次方程式および2次不等式の解とグラフの関係性を理解させる。また、2次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識させるとともに、それらを事象の考察に活用できるようにさせる。	指導計画	第1節	2次関数とグラフ・・・8時間	
			第2節	2次関数の値の変化・・・7時間	
			第3節	2次方程式と2次不等式	
			5	2次方程式・・・・・・・・・・2時間	
			6	2次関数のグラフと x軸の位置関係・・・3時間	
			7	2次不等式・・・・・・・・・・7時間 (本時はその1時間目)	
本時の主題	2次不等式の解の求め方				
本時の目標	1 グラフを利用して、2次不等式の解を求められるようにさせる。 2 2次不等式における不等号の向きと解の形式の関係を理解させる。				
前時の課題	教科書 p106 練習34で利用する1次関数のグラフをかいておく。				
	学 習 活 動	時間 (分)	指 導 上 の 留 意 点	評価規準・方法、観点等	
指 導 過 程	導入	本時の学習内容を確認する。	5	・本時の学習内容と目標を明確に説明する。	
	展	1 練習34を解く。 2 例題を解く。	10 8	・yの符号をグラフから判断させ、不等式を満たしているyの値とそれに対応するxの値を読み取らせる。	【評価規準】 ○不等式の解と関数のグラフの関係を理解できる。 (数学的な見方・考え方) 【評価方法】観察・発表
		次の2次不等式を解け。 (1) $x^2 - 6x + 5 > 0$ (2) $x^2 - 4 \leq 0$			
	導	3 練習35、36を解く。	15	・x軸との交点を考え、グラフをかくよう指示をする。	【評価規準】 ○グラフを利用して、2次不等式の解を求められる。 (知識・理解) (数学的な技能) 【評価方法】授業プリント
	開	4 2次不等式における不等号の向きと解の形式の関係を探す。	7	・生徒同士で話し合う時間を確保し、自分の言葉で説明させる。	【評価規準】 ○2次不等式における不等号の向きと解の形式の关系到気づき、説明することができる。 (数学的な見方・考え方) 【評価方法】観察・発表
理	1 本時のまとめをする。 2 次時の学習内容を確認する。	5	・本時の授業内容が理解できたか確認する。 ・課題を確認させる。		
備考	生徒数40名(男子15名, 女子25名)				